

戦略評価シート

二ツ井町 商工会

平成30年度(2年目)

※戦略評価判定基準:戦略を構成する施策の評価結果に基づき、A(順調)、B(概ね順調)、C(一部未達成)の3段階で評価する。

戦略1 育て・挑戦を支える商工会		総合評価
施策1	商工会ならではの事業承継と創業推進	B
施策2	巡回の質的向上による個社支援の実施	A
施策3	地域外に活路を見出す販路開拓支援の実施	B

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
評価結果 施策1~3について、概ね順調に事業を遂行した	会員事業への情報提供は、とても大切な業務でまだ改善ができる。	ホームページの更新頻度の上げるため担当を明確化する

戦略2 プロ集団の商工会		総合評価
施策4	職員の支援スキル向上推進	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
評価結果 職域、担当など区分せず、研修会、勉強会等に積極的に参加させた。このことにより横断的知識習得に繋がり、指導員不在でも対応できるが増えた。	特になし	特になし

戦略3 事業者が主役の商工会		総合評価
施策5	総代会制から総会制への移行の推進	A
施策6	実効性の高い会員加入促進運動の実施	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
評価結果 会員減少予測を元にいち早く総会制に移行できた。地区ごとに非会員名簿を作成し職員2人づつペアを組み巡回し、成果へと繋げた。	総会への会員の出席率 加入促進における役員の協力	総会制の周知に努め、出席率向上を図る。引き続き非会員名簿を元にした加入促進を行う(居力が得れそうな役員の協力を得ながら)

戦略4 機動的・効率的な商工会		総合評価
施策7	ICT活用による情報発信の向上	B
施策8	支援拠点のあり方の検討	A

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
評価結果 ホームページでの支援メニュー紹介では、まだ相談活用の事例は少ないが、創業相談にも繋がっている。また、商工会報の全戸配布は、非会員への支援メニュー発信につながる。	商工会報では、会員企業紹介で販路開拓での補助活用支援の事例などを記載しているが、まだまだ紹介数が少ない。ホームページの更新頻度が少ない。	ホームページの役割分担の明確化により更新頻度の向上。

戦略5 環境変化に強い商工会		総合評価
施策9	将来に備えた中長期財政運営計画の策定	B

評価理由	課題	今後の対応方針(改善点)
評価結果 商工会費、手数料、委託事業などの各種シミュレーションを行い自己財源確保に向けた取り組み(貯蓄共済報奨金の獲得など)を行うことで、自己財源比率の目標を達成できた。	予算に沿った事業執行やシミュレーションをもとにした自己財源確保に努めているが、会員減少に伴い目標達成は難しくなっている。	会費、手数料の見直しについて検討